

2009年度

科目名	地理学A		
担当教員	阪野 祐介		
配当	文財1・人社1	コード	43840
開期	前期	講時	木曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	地球上の様々な現象を環境、地域、景観から考える。		
目的と概要	地理学の目的とは、環境や地域、景観を通して、地球上で起きている諸問題を解決するための糸口を提示し、人類の平和を希求することといえます。この授業では、人文地理学の歴史や研究方法論、概念についての知識を習得し、地球上で起こる諸現象の地理的特徴や法則性を発見し解釈する力を身につけることを目的とします。		
成績評価法	試験および平常点(授業態度・ミニレポート)により、知識の理解度や知識の応用力を評価する。 試験(60%)＋平常点(40点)		
テキスト	特に指定しない。		
参考書	授業内において、適宜プリントの配布および参考文献の紹介をする。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション:授業の概要と地理学について 2. 地理学の歴史と方法論1 3. 地理学の歴史と方法論2 4. 地理学における基本的概念、用語 5. 地域・環境からみる世界 地図からみた世界。人間の活動と環境。 6. 景観からみる世界 フィールドワークに出て何をどのように観察するとよいだろうか。 7. 都市の地理学(1) 都市の立地について考える。都市システムとは何か。 8. 都市の地理学(2) 都市の構造と景観を考える。人びとの活動と都市空間の形成・変容。 9. 村落の地理学(1) 村落の立地と形態について学ぼう。多くの村落にも、違いと共通点がある。 10. 村落の地理学(2) 村落の構造と景観を考える。共同体と村落空間はどのように関係しているのか。 11. 場所とイメージ(1) 頭の中に描かれる地図。場所の意味とは何か。 12. 場所とイメージ(2) 地域のもつイメージとはなんだろう。 13. 観光の地理学(1) 観光地は創られる。観光地形成をめぐる人びとの活動に注目する。 14. 観光の地理学(2) 観光地と場所のイメージの関係は重要である。 15. まとめ 			